

素晴らしい特色のある久喜麗和会

●久喜麗和会・田園文化都市研究会に参加して！

昨日は、「第50回記念 久喜麗和会 田園文化都市研究会・講演会」(三高サロン会議室)にお招きいただき、講師の新井病院院長・関谷栄様(高29回)のご講演「医学・医療の進歩と課題～遺伝子が決める疾病とその対策～」を拝聴させていただきました。

◇ ◇

■久喜麗和会 田園文化都市研究会

久喜麗和会は私どもの春日部地区浦高会より1年早い2000年に設立され今年が25周年になります。そして、この田園文化都市研究会は、2006年7月にスタートしたそうです。研究会の趣旨は、「発表者が日常生活や仕事や活動を通して、感じていること、考えていること、これからの地域・社会、あるいはわが国の文化や発展にかかわるような問題について、自由に話題提供していただき、気軽に意見交換する」場で、発表と意見交換で90分間の会だそうです。

スタート当初は「田園文化都市」という名称が無かったそうですが、会員でもある田中暄二様(高16回)が久喜市長の時代に、久喜市が「田園文化都市構想」というものを掲げられていたことから、故・土屋興之様(中44回)が会の名称を付けられたそうです。コロナ禍の2021年には、久喜麗和会20周年記念誌(B4版112p)を発行されました。

現在は対面のほか、Web上での研究会なども開催され、多くの皆様が参加されていらっしゃるそうです。

◇ ◇

■医学・医療の進歩と課題

～遺伝子が決める疾病とその対策～

新井病院院長 関谷 栄 様

レジュメに関谷先生からのメッセージがあります。《今から約50年前の1972年にCT(断層撮影)装置が販売されました。これにより東部を開けることなく内部を観察することができるよ



うになりました。近年、体中の活性物質が発見され、その分子構造が同定され、薬剤として使われるようになってきました。また疾病と遺伝子の関係も判明してきています。これら医学・医療の進歩について講演させていただきます。医学・医療の進歩によりヒトの寿命は延びました。1950年代には人生65年であったものが、現在では人生85年の時代となっています。この寿命が延びることで新たに認知症などの問題が出現しています。これらに対する対策についても講演の中でふれたいと思っています。》

関谷様のお話は3つのテーマからのお話でした。

1. 遺伝子が決める疾病とその対策

糖尿病に関するお話でした。糖尿病は今から3500年前のエジプトのパピルスにも「多量に尿を出す病気」との記録があり、急速にやせ細っていく「死の病」とされてたそうです。1921年にインスリンが発見されて1922年から治療ができるようになり、現在ではさまざまな治療薬があるそうです。私も運動不足と甘い物好きから、HbA1cが6.4前後で糖尿病と診断・治療を受けており、他人ごとではなくしっかりと勉強させていただきました。関谷先生の患者さんの症例から、糖尿病スイッチをOFFにできる可能性も勉強し、夜食を止めて、甘味を避けて糖質カットし、適度の運動を行っていくように努めたいと思いました。

2. 医学・医療の進歩

昭和初期には検査も治療もできなかった脳卒中が、1972年にCT(断層撮影)が発売され診断が可能となり、2005年にはtPAにより脳血管障害も治療できるようになり、1985年には虚血性疾患に対してカテーテル治療(PCI、ステント挿入)が可能となりました。さらに癌に対しても1950年の胃カメラ完成により、「死の病」であった癌も7割近い5年生存率が保てるようになったそうです。こうして急激な高齢化(高齢化率30%超)によって課題になってきたのが「認知症」、80歳を過ぎると5人に1人、85歳超では2人、90歳超では3人、95歳超では5人に4人が認知症有病率だそうです。管理の方法としては、血圧(血管性認知症)と血糖値(アルツハイマー型認知症)をコントロールし、喫煙(血管性認知症とアルツハイマー型認知症)しないことで予防ができるそうです。常に楽しく、身体を鍛え、仲間と一緒に、好奇心を持って生きることが大切だそうです。

3. 人生会議

最後のテーマは、人生の最終段階における医療・ケア決定プロセスに関するガイドラインとして紹介されたのが「マイエンディングノート」でした。突然の事故、認知症、さまざまな医療機会に際して、自分はどのように欲しいか、家族としてどうしたいかを決めておくことで、尊厳ある最期を迎えるための手段だそうです。私も一昨年、独居の叔父の後見人を務めました。延命を求めず、遺産等をどうしたいのかを聞き取れたことが幸いでした。

◇ ◇

関谷先生は、尺八・琴古流師範でいらっしゃる、懇親会の席では名曲「川の流れるように」、ラテンの「キエンセラ」、坂本九さんの「見上げてごらん夜空の星を」などをご披露いただきました。50回目の田園文化都市研究会は素晴らしいものでした。

